

株式会社セキュア（証券コード：4264）

2025年12月期決算説明資料

Financial results for the fiscal year ending December 2025

2026年12月期からの高成長は リアル空間×AIの実装が牽引

<2026年は売上高20%増、営業利益90%増を見込む>

FY2025

売上高

6,840百万円

前期比
+9.5%達成率※
97.7%

営業利益

326百万円

前期比
+6.6%達成率※
81.5%

*達成率は2025年2月14日発表の業績予想に対する達成率

- ✓ 売上高については既存顧客向け一部プロジェクトにおいて案件進捗が想定を下回ったが、前期比+9.5%増収での着地
- ✓ 販管費は採用を中心とした人件費関連の先行投資、およびM&A関連費用37百万円の影響により増額し、営業利益は326百万円での着地
- ✓ セールス・マーケティング人員は前期末比で18名の純増、4月には東北エリアの営業活動拡大のため仙台オフィスを開設
- ✓ 2月開示のメルコホールディングス（現：バッファロー）との資本業務提携に関して協力体制の構築を中心に取り組みは順調に進捗
- ✓ 4月にメディアシステムのM&Aを実施

FY2026 見通し

売上高累計

8,206百万円

前期比
+20.0%

営業利益累計

620百万円

前期比
+90.1%

- ✓ 売上高は引き続き旺盛な需要拡大を背景に前期比+20.0%成長を見込む
- ✓ 人手不足を背景とした、AI・DX関連サービスの開発を強化し、積極的な販売を展開
- ✓ セールス人員の採用・教育は継続して取り組み
- ✓ M&Aの取り組みも強化

2025年12月期連結業績サマリー

売上高は前期比+9.5%の成長、販管費は人件費関連の先行投資とM&A関連費用で増額も売上総利益率の改善により営業利益は326百万円と増益で着地

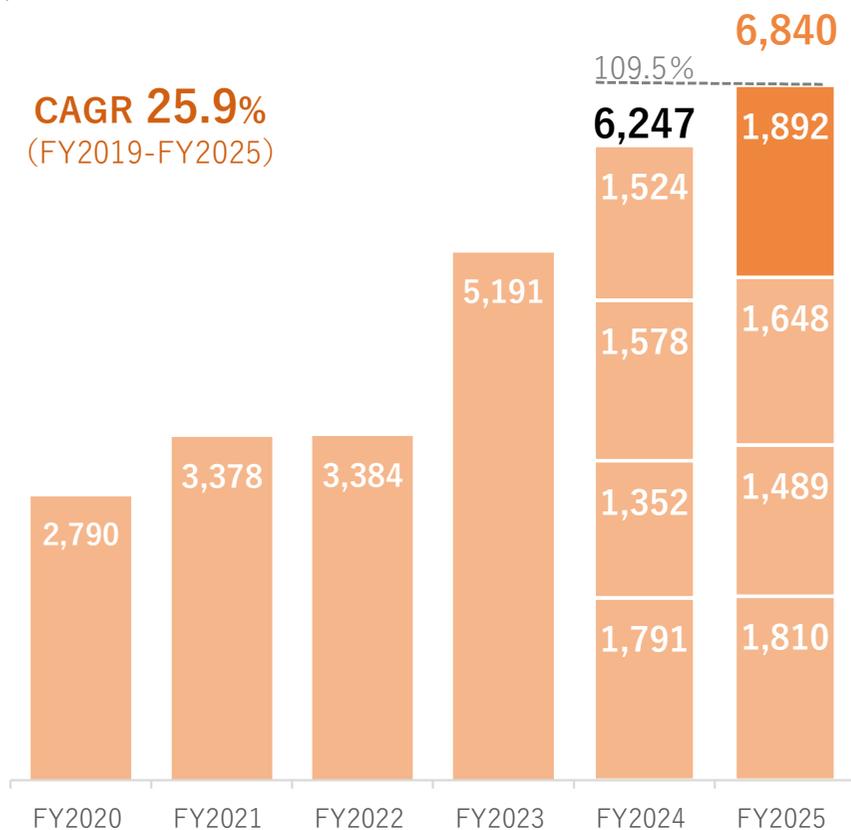
(百万円)	FY2024 実績	FY2025 業績予想*	FY2025 実績	前期比 (FY24-25比較)		業績予想※ 達成率
				増減額	増減率	
売上高	6,247	7,000	6,840	+593	+9.5%	97.7%
SECURE AC (入退室管理システム)	1,737	-	1,857	+120	+6.9%	-
SECURE VS (監視カメラシステム)	3,885	-	4,178	+292	+7.5%	-
SECURE analytics (画像解析サービス/その他)	239	-	242	+2	+1.1%	-
SECURE ES (エンジニアリングサービス)	383	-	562	+178	+46.5%	-
売上総利益	2,528	-	2,828	+299	+11.9%	-
販売管理費	2,222	-	2,502	+279	+12.6%	-
営業利益	305	400	326	+20	+6.6%	81.5%
営業利益率 (%)	4.9%	5.7%	4.8%	△0.1pt	-	-
経常利益	293	380	299	+6	+2.1%	78.9%
税引前当期純利益	283	-	299	+16	+5.7%	-
当期純利益	240	294	187	△52	△22.0%	63.8%

2025年12月期全体売上・売上総利益

Q4売上高は旺盛な需要を受け、案件の積上げが進展しQ毎売上高において過去最高を更新
売上総利益率については、インフレ・為替等の影響はあったが41.3%に着地

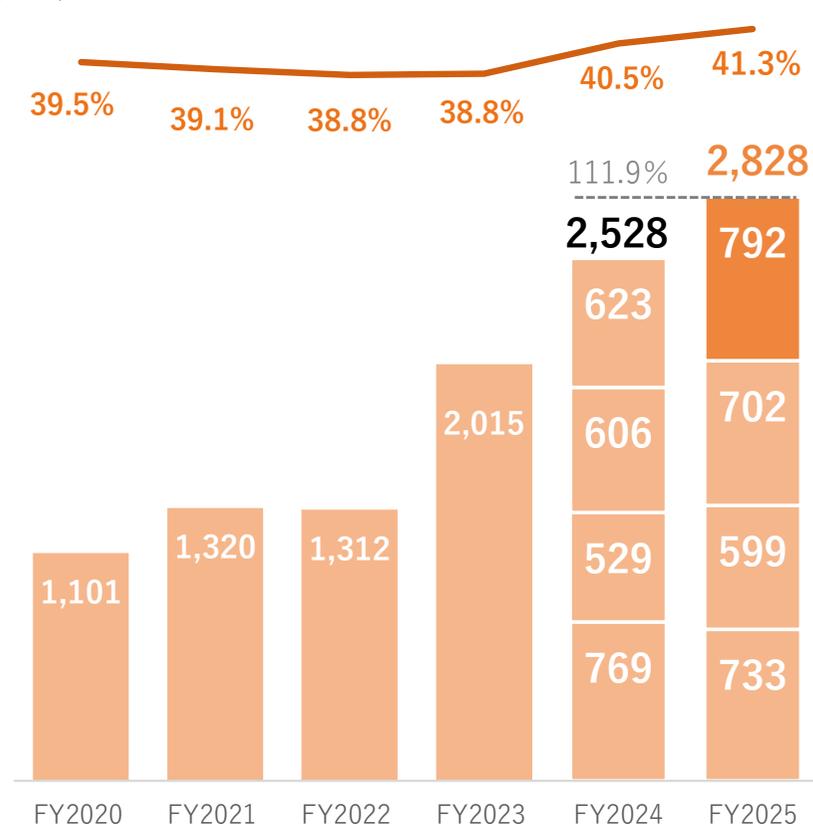
売上高

(百万円)



売上総利益・総利益率

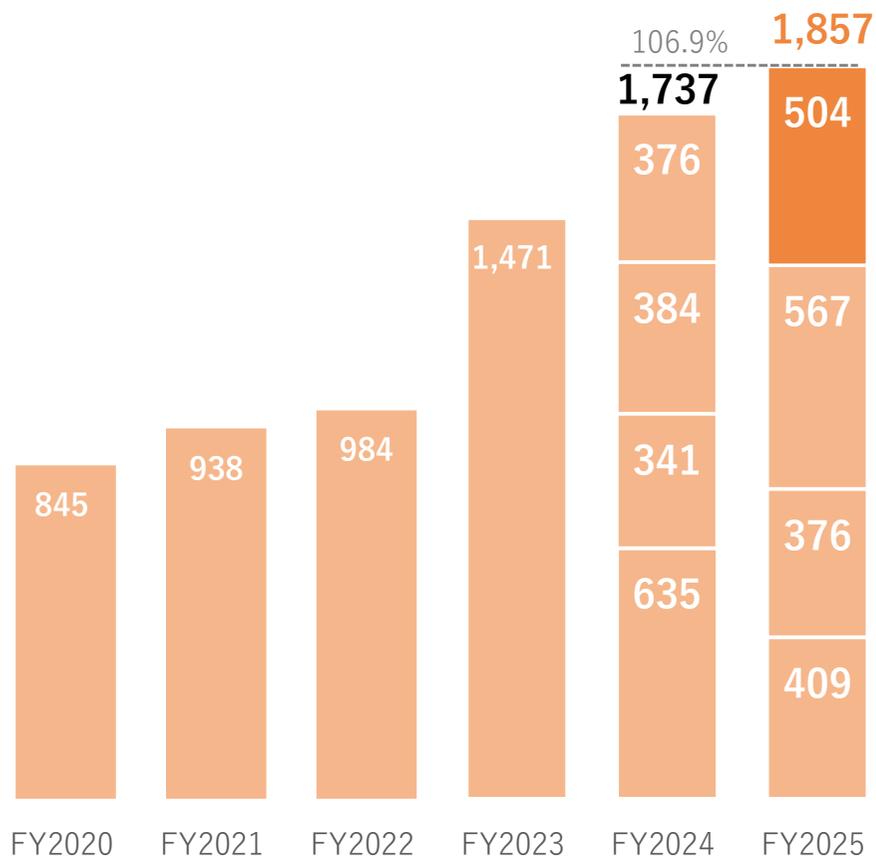
(百万円・%)



昨年に比べQ1の大型案件納品は少なかったものの、中・小型案件が順調に進捗したことから導入件数は大幅に増加、売上高も前期比増収で着地

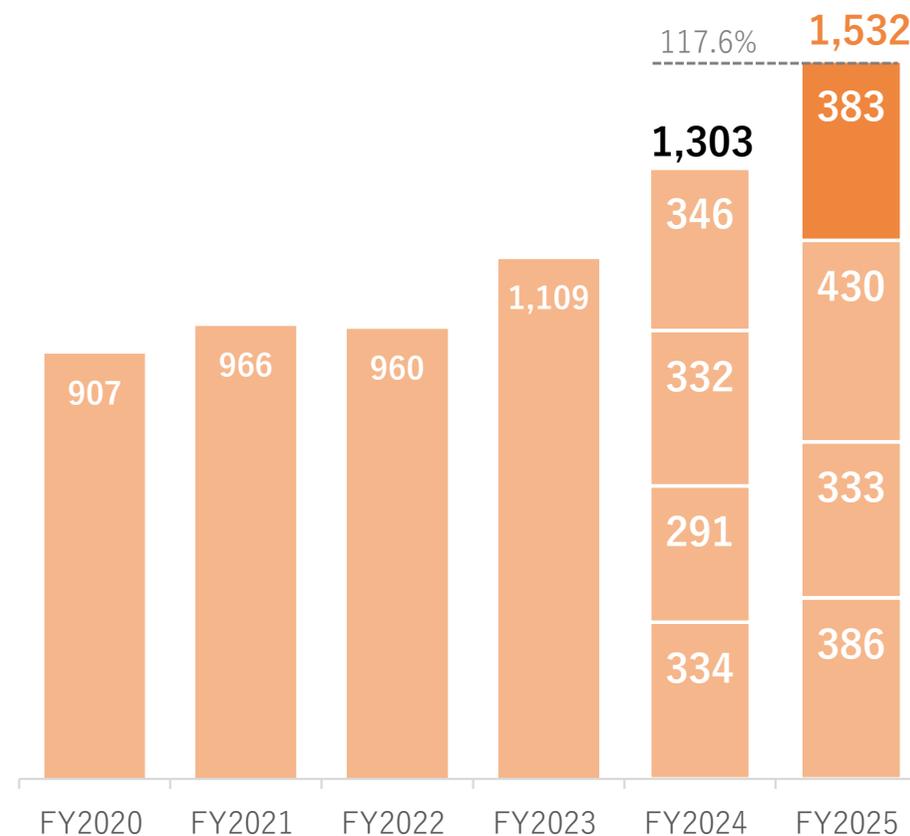
売上高

(百万円)



SECURE AC 導入件数

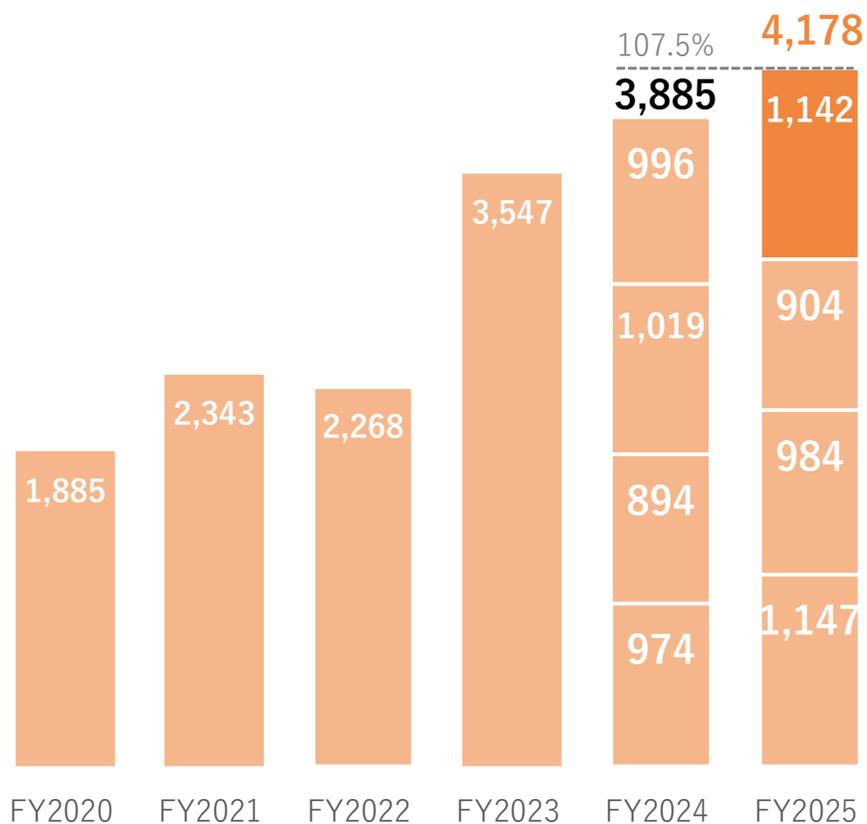
(件)



既存顧客向け一部PJが想定を下回ったものの、中・小型案件の新規導入は順調に進捗し
売上高、導入件数ともに前期を上回り着地

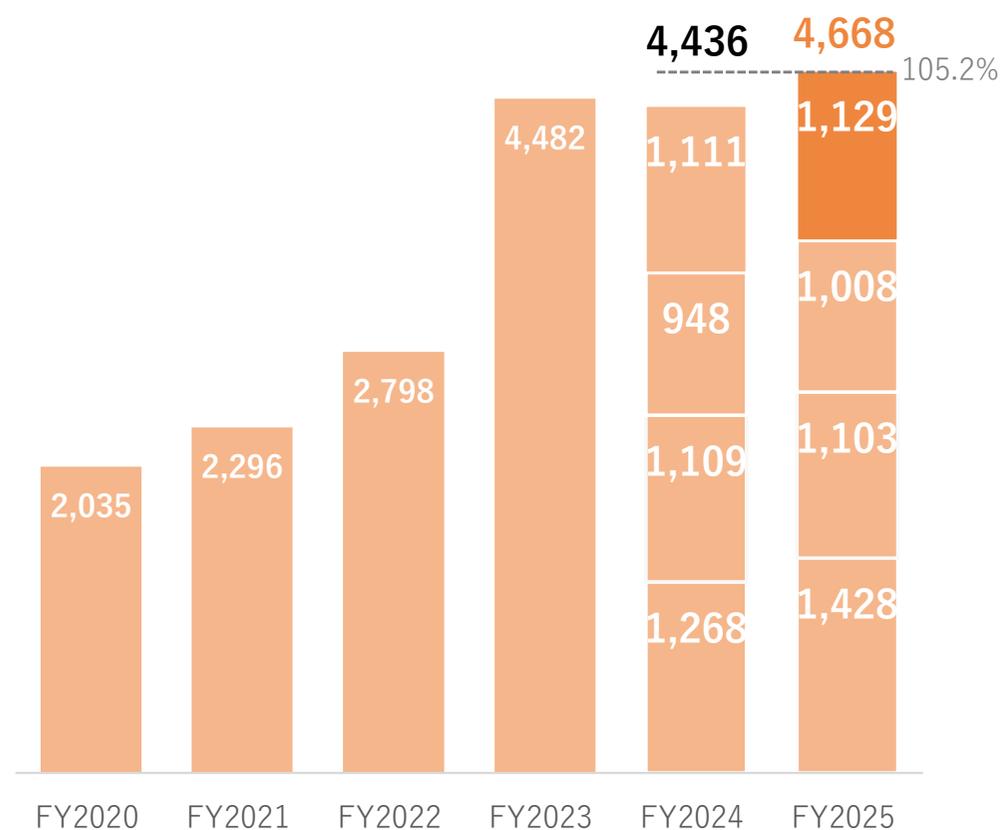
売上高

(百万円)



SECURE VS 導入件数

(件)

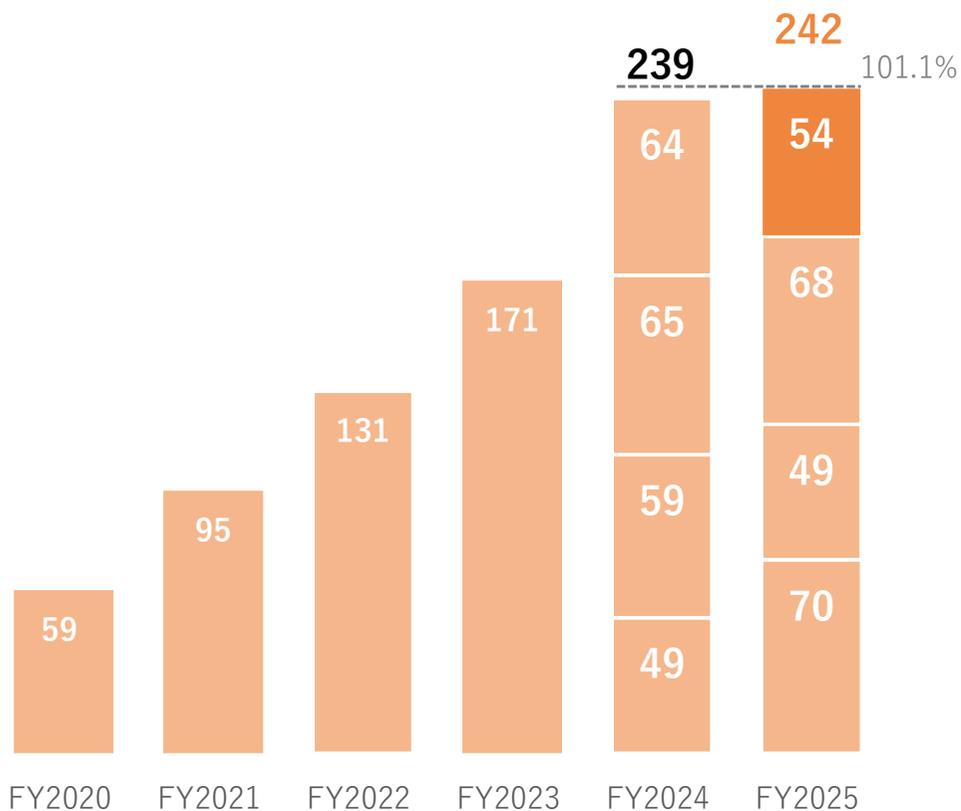


「SECURE Analytics/その他、SECURE ES」業績推移

AnalyticsはPOC案件剥落の影響はあったが前期比増収で着地、引き続き案件獲得に取り組む
SECURE ESはQ3以降のメディアシステムの取込みもあり増収で着地

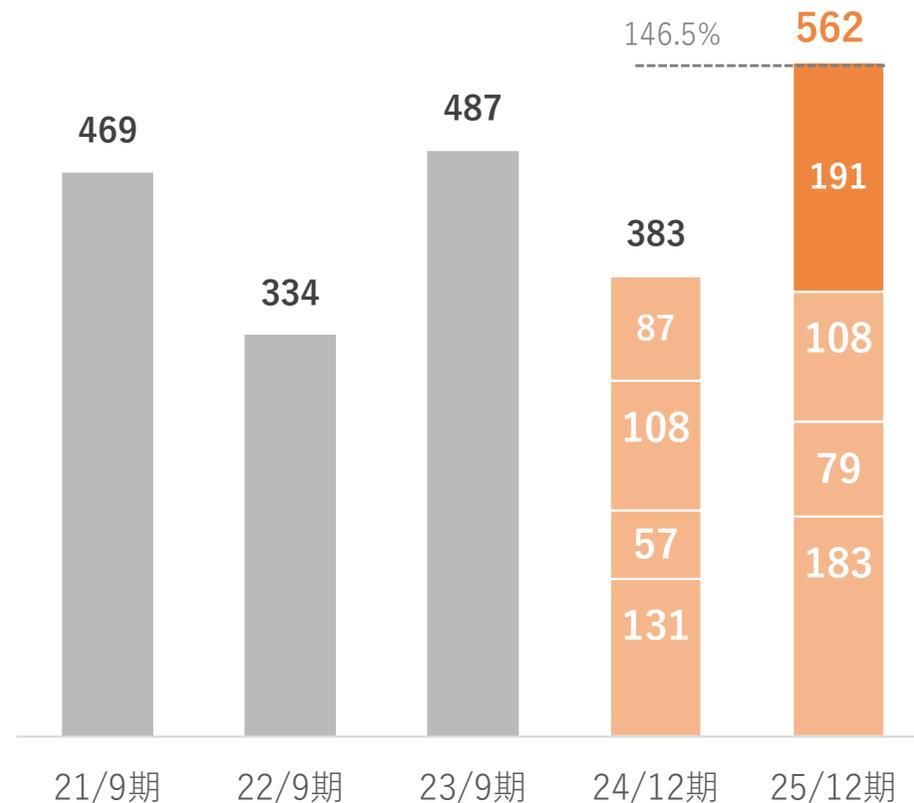
SECURE Analytics / その他 売上高

(百万円)



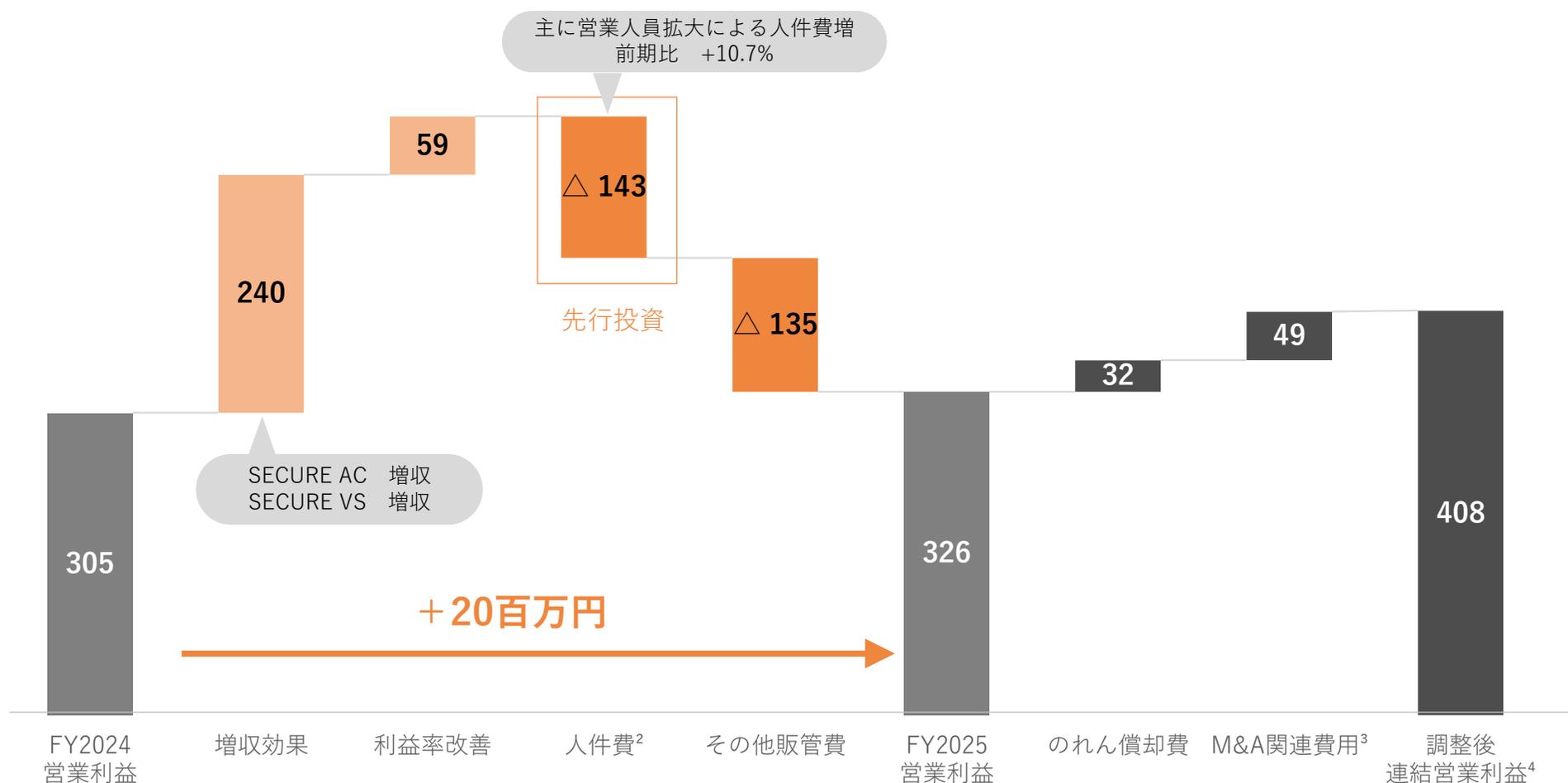
SECURE ES 売上高

(百万円)



営業利益増減要因分析

先行投資である人件費および研究開発費増によるその他販管費が増額¹のれん、M&A関連費用を調整した調整後営業利益は408百万円での着地



※1 研究開発費について、去年までは人件費に計上していたが、2025年12月期より計上方法の変更からその他販管費で計上

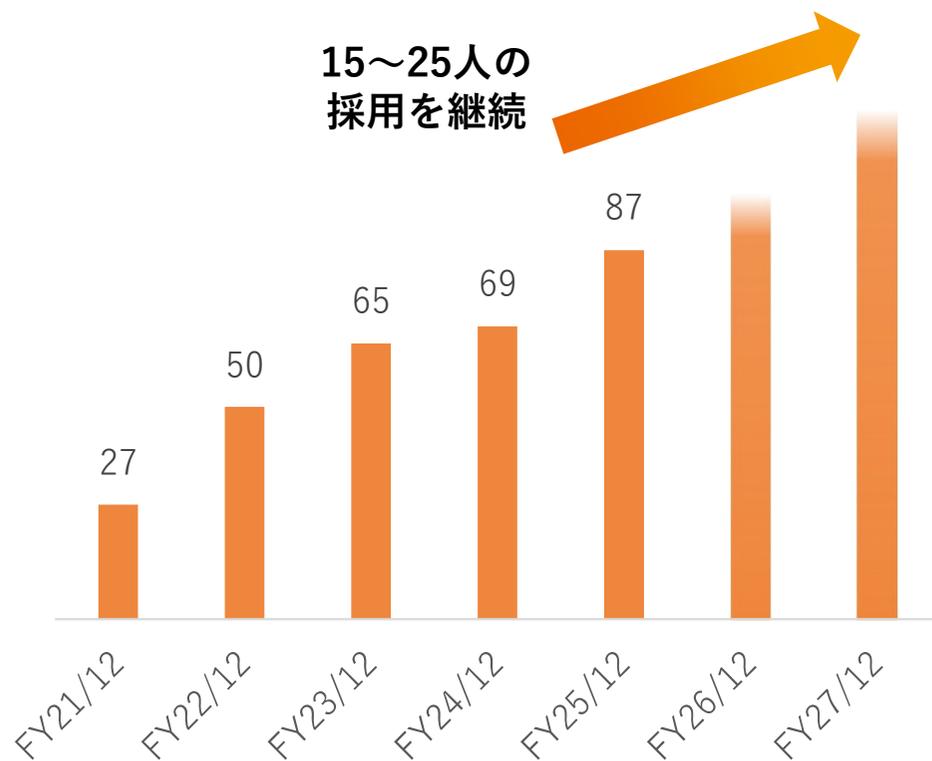
※2 人件費 = 給与・賞与・法定福利費等

※3 M&A関連費用 = アドバイザリー費用等 + 業務委託費用

※4 調整後連結営業利益 = 連結営業利益 + のれん償却費 + M&A関連費用

新規採用は前期末比で18名の純増で計画通りに進捗、4月には仙台オフィスを開設
引き続き新規採用は継続し、100名体制の構築を目指す

セールス・マーケティング人員数推移



セールス人員の成熟化までは約1.5~2年
先んじて採用を行い、業績拡大に繋げる

拠点拡大



- 22年7月名古屋オフィス開設（現名古屋営業所）
- 23年1月大宮・横浜オフィス開設
- 23年4月広島オフィス開設
- 24年7月札幌オフィス開設
- 25年4月仙台オフィス開設

基盤強化



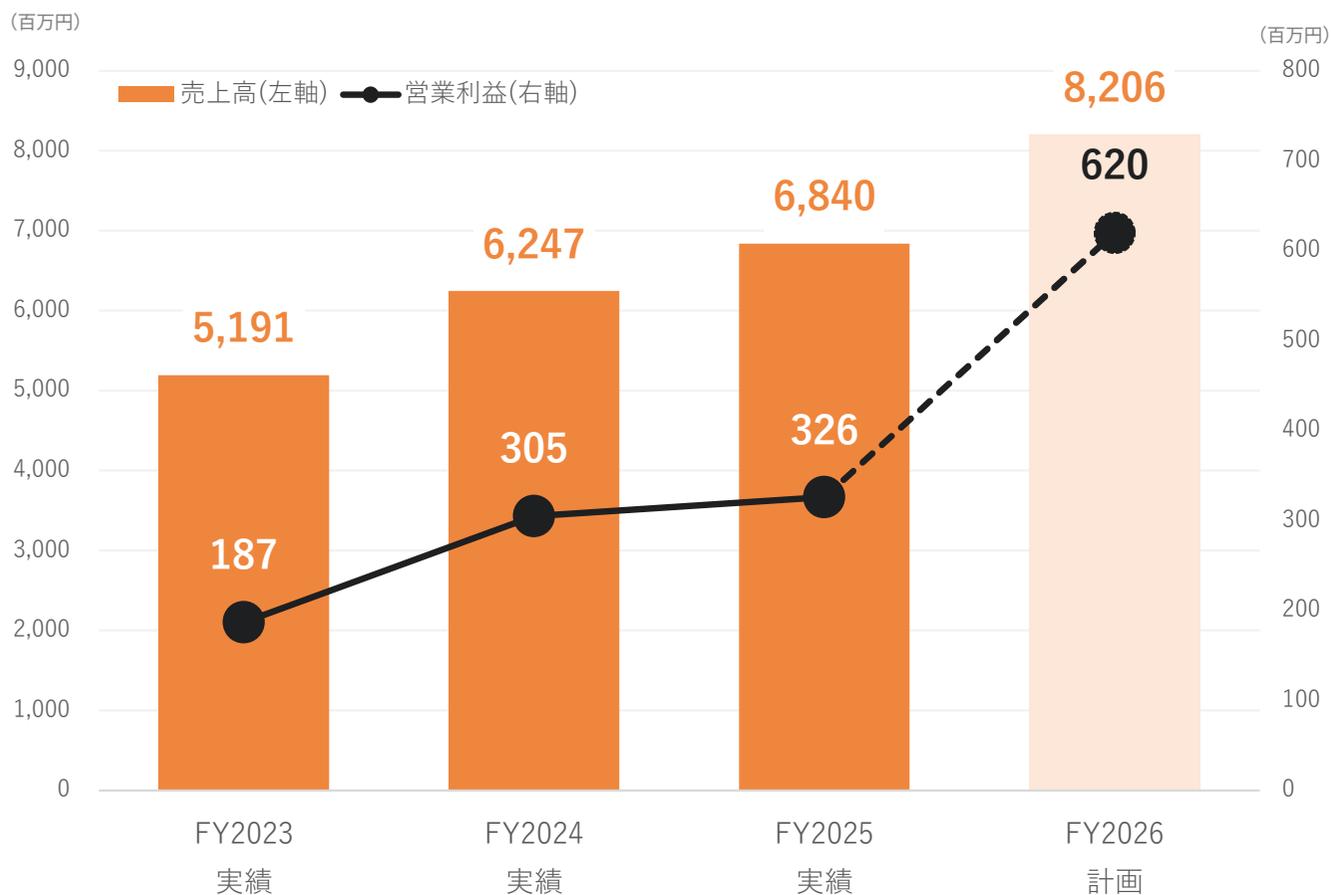
- マーケティング活動の強化
- Security System Labにおける独自の教育制度
- 採用力の強化

今期の業績予想（26/12期）

26年12月期の売上高は前期比+20.0%増収を計画

販管費の先行投資は継続するが営業利益は前期比+90.1%増益を見込む

売上高と営業利益の推移



26/12期計画は
売上高**20.0%**増収、
営業利益**90.1%**増益
営業利益率+**2.8pt**

FY2026は大型案件の
受注を見込む

AI・DX関連サービスの
開発・販売を強化
人材への先行投資は継続
M&A投資も強化

26年12月期は前期比で+20.0%の売上成長を見込む

人材への継続投資に加え、リテール分野などのAI・DX関連への投資拡大を見込むも

営業利益については前期比で+90.1%成長の620百万円を見込む

	FY2024 実績	FY2025 実績	FY2026 業績予想		
			計画	前期比増減額	前期比増減率
(百万円)					
売上高	6,247	6,840	8,206	+1,365	+20.0%
営業利益	305	326	620	+293	+90.1%
営業利益率 (%)	4.9%	4.8%	7.6%	+2.8%	-
経常利益	293	299	600	+300	+100.1%
税引前当期純利益	283	299	600	+300	+100.1%
当期純利益	240	187	410	+222	+118.6%

*業績予想は2026年2月13日に発表

既存のセキュリティソリューション事業で基盤を固め、**SaaS型ソリューションやAI技術を活用した新規ビジネスで成長を加速**させ、安心安全でスマートな社会の実現を目指す

方針

更なるAIの実装力を強化し
企業価値の最大を図る



- 本資料には、将来の見通しに関する記述が含まれています。将来の見通しに関する記述は、本資料の日付時点の情報に基づいて作成されています。これらの記述は、将来の結果や業績を保証するものではありません。将来予想に関する記述には様々なリスクや不確実性が含まれており、その結果、実際の業績や財務状況は、将来予想に関する記述によって明示的または黙示的に示された将来の業績や結果の予測とは大きく異なる可能性があります。
- これらの記述に記載された結果と大きく異なる可能性のある要因には、国内及び国際的な経済状況の変化や、当社が事業を展開する業界の動向などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。
- また当社以外の事項・組織に関する情報は、一般に公開されている情報に基づいており、当社はそのような一般に公開されている情報の正確性や適切性を検証しておらず、保証していません。